



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社エフピコ

コード番号 7947 URL <http://www.fpco.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 守正

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務本部部長 (氏名) 池上 功

TEL 084-953-1145

四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日

配当支払開始予定日

平成24年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	79,087	2.9	7,413	7.5	7,528	8.8	4,393	16.2
24年3月期第2四半期	76,882	16.2	6,892	0.9	6,917	1.3	3,781	△5.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 4,113百万円 (7.6%) 24年3月期第2四半期 3,824百万円 (2.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	212.28	—
24年3月期第2四半期	182.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	172,507	73,056	42.3	3,528.85
24年3月期	165,964	70,202	42.3	3,390.22

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 73,040百万円 24年3月期 70,170百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	58.00	—	60.00	118.00
25年3月期	—	64.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	60.00	124.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	6.0	15,890	7.0	16,100	7.7	9,420	16.4	455.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より補助金収入の会計処理の変更を行なっております。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	22,142,106 株	24年3月期	22,142,106 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,444,114 株	24年3月期	1,444,024 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	20,698,039 株	24年3月期2Q	20,698,230 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費全般は緩やかな回復傾向が続いたものの、円高や欧州債務危機問題の長期化、電力供給不足の不安など、景気の先行きについては依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間においては、新デザイン容器やマルチF P (MFP: -40°C~+110°Cの耐寒・耐熱性を兼ね備え、耐油・耐酸性、断熱性に優れた発泡ポリスチレン容器) に代表される新機能容器など、『エフピコフェア2012』以降に上市した新製品(約2,000アイテム)の拡販は好調に推移しております。

また、マルチF Pの販売数量増加に伴い、その製造工程で発生する端材を利用したマルチソリッド(MSD: マルチF Pの特性を維持しつつシャープな形状の実現を可能とした非発泡ポリスチレン容器)を開発し上市いたしました。平成24年5月に上市したPETリサイクル透明容器「エフピコ エコPET」(登録商標)シリーズへの切替も順調に進んでおり、透明度をOPS並みとしたPP耐熱透明容器も販売量を大きく伸ばしております。

一方で、汎用製品を中心に不採算取引の見直しを行ってきたことなどにより、製品販売数量は前年同期比102.3%となりました。なお製品売上高は、新製品の販売数量が伸びたことに加え、前第2四半期連結会計期間に実施した製品値上げの影響もあり、前年同期比102.6%となりました。

商品売上高は、平成23年5月より稼働を始めたアイ・ロジック中部ピッキングセンターより、大手ユーザーへ食品用包装資材の納入を開始する等商品取扱量の拡大に努めたことにより、前年同期比103.5%となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は790億87百万円、前年同期比で22億4百万円の増収(前年同期比102.9%)となりました。

利益面におきましては、前第4四半期連結会計期間から原材料価格が次第に高騰を続けたため、原材料コストが前年同期に比べ約3億円増加した他、積極的に進めている設備投資など経費の増加が約8億89百万円となりました。

他方、新製品の販売が好調に推移したことや、グループ全体でのコスト改善及び製品値上げを行った効果による利益改善額は総額で約18億円となり、当第2四半期連結累計期間の経常利益は75億28百万円、前年同期比で6億10百万円の増益(前年同期比108.8%)となりました。また、経常利益が大きく増加したことと、前年同期には東日本大震災に関わる特別損失2億41百万円を計上していたこと等により、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は43億93百万円(前年同期比116.2%)となりました。

設備面では、平成24年7月より中部リサイクル工場にてPETメカニカルリサイクルプラント2号機が稼働し、回収PETボトルを主原料としたリサイクルPETフレークの生産を開始しております。また、PSP製品の生産を先行して開始しておりました関東八千代工場は、平成24年7月に全ての工事が完了し竣工となりました。なお、関東八千代工場におきましては、PET2軸延伸製品(耐熱性向上と強度アップを実現したPET透明容器では世界初となる2軸延伸シートからの成型品)の上市に向けて最終調整に入っておりますが、11月より販売を開始いたしました。

さらに、平成23年5月のアイ・ロジック中部ピッキングセンター稼働、平成24年4月のアイ・ロジック関東ピッキングセンターの拡充に続き、更なるピッキング拠点拡充のため、九州地区(佐賀県神埼市)及び関西地区(神戸市)において既存拠点の近隣に新たな用地を取得し、平成25年7月及び10月の稼働に向けて建設に着手いたしました。11拠点(約4万坪:平成25年度計画)のピッキングセンターと、6拠点(約13万坪:平成25年度計画)の物流センターにより、全国をフルカバーする物流ネットワークの強化に向けて準備を進めております。

社会的責任としての障がい者雇用の促進につきましては、障がい者雇用率は16.3%(平成24年3月末現在)となっており、平成24年6月の仙台市に続き、平成24年11月には福井市におきましても、障がい者就労施設におけるペットボトル減容ライン新設を支援し、全国21ヶ所(成型工場:3ヶ所、組立工場:9ヶ所、選別工場:9ヶ所)の事業所と障がい者就労施設2ヶ所で雇用の機会を提供しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,725億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて65億42百万円増加いたしました。

これは主に受取手形及び売掛金12億10百万円、商品及び製品4億99百万円並びに有形固定資産合計57億59百万円の増加、現金及び預金6億72百万円の減少によるものであります。

負債合計は、994億50百万円となり、前連結会計年度末に比べて36億88百万円増加いたしました。

これは主に買掛金4億25百万円、短期借入金及び長期借入金合計49億93百万円並びにその他固定負債12億31百万円の増加、未払法人税等10億61百万円並びにその他流動負債18億84百万円の減少によるものであります。

また、純資産合計は、730億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて28億54百万円増加いたしました。

これは主に利益剰余金31億49百万円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より6億72百万円減少し、132億36百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、66億9百万円（前年同期は63億78百万円の資金獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益73億30百万円と減価償却費46億89百万円及び仕入債務の増加 4億62百万円などによる資金の増加、売上債権の増加12億88百万円とたな卸資産の増加 6億37百万円及び法人税等の支払38億84百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、98億92百万円（前年同期は59億51百万円の支出）となりました。これは主にピッキングセンター及び工場の生産設備等固定資産の取得による支出96億71百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は、26億9百万円（前年同期は11億74百万円の支出）となりました。これは主に借入金等の純増加額50億82百万円と配当金の支払12億41百万円及びリース債務の返済による支出12億23百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原材料価格動向に加えて、景気は足踏み状態が続き、依然として先行き不透明な状況が予想されます。平成25年3月期の連結業績につきましては、平成24年8月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（補助金収入の会計処理の変更）

一部の子会社で実施するリサイクル事業等に係る障がい者雇用に対する助成金は、従来、営業外収益の補助金収入として計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上原価から控除する処理に変更しております。この変更は、PETリサイクル事業への本格参入を決定したことを契機とし、平成25年3月期中の中部PETリサイクル工場等の本格稼働により障がい者雇用が増加、また、助成金も増加する見込みであり、この傾向は今後も続くと考えられることから、当該事業の採算管理の考え方を財務諸表により適切に反映させるために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上原価が305百万円減少し、営業利益が同額増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響ありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,909	13,236
受取手形及び売掛金	37,328	38,539
商品及び製品	14,662	15,161
仕掛品	131	146
原材料及び貯蔵品	2,184	2,269
その他	4,162	4,268
貸倒引当金	△68	△63
流動資産合計	72,310	73,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,114	38,930
機械装置及び運搬具（純額）	8,473	9,297
土地	26,767	27,836
リース資産（純額）	8,088	9,516
その他（純額）	8,355	5,977
有形固定資産合計	85,798	91,558
無形固定資産		
のれん	1,671	1,399
その他	965	952
無形固定資産合計	2,637	2,352
投資その他の資産	5,218	5,038
固定資産合計	93,654	98,948
資産合計	165,964	172,507
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	21,565	21,991
短期借入金	16,705	17,098
コマーシャル・ペーパー	15,000	15,000
未払法人税等	4,032	2,970
賞与引当金	1,735	1,687
役員賞与引当金	101	46
その他	11,410	9,526
流動負債合計	70,551	68,322
固定負債		
長期借入金	15,603	20,203
退職給付引当金	1,971	2,058
役員退職慰労引当金	1,098	1,097
その他	6,536	7,768
固定負債合計	25,210	31,128
負債合計	95,762	99,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,150	13,150
資本剰余金	15,843	15,843
利益剰余金	45,784	48,934
自己株式	△4,938	△4,938
株主資本合計	69,840	72,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330	50
その他の包括利益累計額合計	330	50
少数株主持分	31	16
純資産合計	70,202	73,056
負債純資産合計	165,964	172,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	76,882	79,087
売上原価	53,746	54,866
売上総利益	23,136	24,221
販売費及び一般管理費	16,244	16,807
営業利益	6,892	7,413
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	40	34
その他	268	341
営業外収益合計	313	378
営業外費用		
支払利息	221	176
その他	67	87
営業外費用合計	288	264
経常利益	6,917	7,528
特別利益		
固定資産売却益	1	18
特別利益合計	1	18
特別損失		
固定資産除売却損	15	86
投資有価証券評価損	69	112
関係会社株式売却損	—	17
災害による損失	241	—
特別損失合計	327	216
税金等調整前四半期純利益	6,591	7,330
法人税、住民税及び事業税	2,837	2,904
法人税等調整額	△30	32
法人税等合計	2,806	2,937
少数株主損益調整前四半期純利益	3,784	4,393
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	2	△0
四半期純利益	3,781	4,393

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,784	4,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△279
その他の包括利益合計	40	△279
四半期包括利益	3,824	4,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,822	4,114
少数株主に係る四半期包括利益	2	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,591	7,330
減価償却費	4,610	4,689
賞与引当金の増減額 (△は減少)	126	△39
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△41	△53
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△5
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20	14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	90	89
投資有価証券評価損益 (△は益)	69	112
固定資産除売却損益 (△は益)	14	68
受取利息及び受取配当金	△45	△37
支払利息	221	176
災害損失	241	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,949	△1,288
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,488	△637
未収入金の増減額 (△は増加)	△74	△194
仕入債務の増減額 (△は減少)	585	462
その他	227	△49
小計	9,202	10,636
利息及び配当金の受取額	45	37
利息の支払額	△213	△180
法人税等の支払額	△2,339	△3,884
災害損失の支払額	△317	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,378	6,609
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,872	△9,671
その他	△78	△221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,951	△9,892
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,400	780
長期借入れによる収入	11,000	10,910
長期借入金の返済による支出	△8,216	△6,607
リース債務の返済による支出	△1,352	△1,223
配当金の支払額	△1,198	△1,241
その他	△6	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,174	2,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△749	△672
現金及び現金同等物の期首残高	13,273	13,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,523	13,236

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。